

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長岡市	代表者名	磯田 達伸
担当者部署	山古志支所	連絡先電話番号	0258-59-2339
担当者役職	係長	担当者氏名	今井 雅廣
住所	947-0204 新潟県長岡市山古志竹沢乙461		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	山古志地域の抱える現状を丁寧に聞いてもらえた。現状のヒアリングの中で改めて課題や問題点が浮き彫りになり、確認することもできた。課題解決に向けた提案や可能性を示していただけました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月17日	事前打合せ(実地)	有	令和6年1月24日	1137
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月15日	事前打合せ（実地）	13時30分	17時15分	15
				活動時間（分）	210
3-2. 派遣場所	会場名	長岡市山古志支所	最寄駅	小千谷駅	
	所在地	長岡市山古志竹沢乙461	最寄駅からの交通手段	駅から会場・宿泊先まで公用車送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員、任意団体代表	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	中越地震や市町村合併、過疎化が進行する中で担い手不足が起こっています。そのような中で、地域づくり活動団体に重複して所属する住民が多数おり、住民の活動負担を軽減するためにデジタルバйд対策など地域全体で地域情報化の底上げを目指す必要があります。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	地域づくり団体に事務局機能や後方支援の方策についてアドバイスがほしい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	資金面の不安を解決するための補助金活用の提案と具体的な補助金の紹介を受けた。また、各種団体の整理と体制についての指導をいただいた。補助金の詳細については次後ほど紹介いただけるとの事	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	資金面での不安が大きかったが、補助金活用によって事業が大きく前進するのではないかと期待ができるようになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の後方支援体制は時間をかけて検討したい。 ・補助金の活用は今後申請となるため確定ではない。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	多様な地域団体が連携し、それぞれの活動を後方支援する事務局機能を構築する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

